

The contribution of Health Promoting Hospitals and Health Services to health equity
メインテーマ「健康の公正性を目指して～病院と介護事業所の貢献～」
2024年11月6日(水)～8日(金) 広島国際会議場

プレナリー（全体会）演者のご紹介



フラン・バウム氏
(アデレード大学・オーストラリア)
Fran Baum

フラン・バウム氏は、公衆衛生の社会学者でオーストラリア公衆衛生協会の元会長です。健康で公平かつ持続可能な社会の創造と推進に特に関心を持っている研究者です。国際的な健康アクティビストのネットワーク People's Health Movementの直前の共同議長でもあります。

<https://phmovement.org>

講演では、温室効果ガスの使用を削減する上での医療システムの役割、グローバルな公平性を考慮した公平な医療システムの特徴、Health in All Policiesなどの部門横断的アプローチの推進による健康の社会的および商業的決定因子への対処、さらに、医療システムの職員が市民社会グループを通じて公平でより平等な世界の実現を訴える役割についても考察します。

全体会1 11月6日(水) 17:45-19:00



ハンス・ベレット氏
(ベルギー厚生省・ベルギー)
Hans Verrept

ハンス・ベレット氏は、ベルギー厚生省の多文化医療支援部に所属する医療人類学の研究者です。国際HPHネットワークの「移民、公正、多様性」のタスクフォース（プロジェクトチーム）のメンバーでもあります。講演では、この改定中のタスクフォースの医療の公正性をモニタリングする自己評価ツールを紹介します。日本においても医療の公正性への関心は高まっており、日常の医療活動の公正性を測定し可視化していくことは、今後、必要な課題となり、私達の問題意識を刺激する講演となるだろうと思います。

全体会2 11月7日(木) 9:00-10:30

第30回国際HPHカンファレンス日本組織委員会>プログラム
<https://www.hphnet.jp/ihcjoc/program.html>

日本語企画のご案内

第30回国際HPHカンファレンスでは、日本語企画も準備されています。住民が参画する地域でのヘルスプロモーションの日本の優れた実践を世界へ発信します。

「地域住民による地域での自主的なヘルスプロモーション活動
～誰も取り残されない健康な地域をめざして～」

座長：根岸 京田氏（東京保健生活協同組合 理事長・蔵前診療所）
演者：白鳥 操氏（東京・東京保健生活協同組合）

「地域の住民運動から発展した医療生協の歴史と発展」
早川 高子氏（岡山・倉敷医療生活協同組合）
「健康班会に参加することで歩行能力が改善した事例を
通してソーシャルキャピタルを考える」

小森 佳子氏（大阪・医療福祉生活協同組合おおさか）
「地域の商店街とコラボした健康まつりのとりくみ」
杉本 満氏（石川・石川健康友の会連合会 事務局長）
「震災時の地域活動」

日本語企画 11月8日(金) 14:10-15:30
(パラレルセッション4の時間帯)

早期参加登録が9月16日まで延期

抄録採択者は8月16日までに参加登録を完了してください。

早期参加登録：9月16日までの登録と振込

後期参加登録：9月16日以降の登録と振込

日本からの参加者は、第30回国際HPHカンファレンス日本組織委員会からの補助金により参加費が割引されています。参加登録・宿泊のご予約はお早めにお申込みください。

第30回国際カンファレンス・プレ企画

「医療団体、医療機関のヘルスプロモーション活動
～健康の公正性への貢献～」

日時：2024年9月21日(土) 13:30～17:10

会場：順天堂大学国際教養学部 第3教育棟

参加費：無料/定員：100名程度(先着順・要事前申込)

お申込み：日本組織委員会のページよりお申込みください。

https://www.hphnet.jp/ihcjoc_news/18466